

平成 25 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	会計学

以下の問 1、問 2 の両方に解答しなさい。なお、問 1 は解答用紙の第 1 ページと第 2 ページに解答し、問 2 は解答用紙の第 3 ページと第 4 ページに解答しなさい。

問 1 企業結合に係る会計処理及び連結財務諸表の作成について下記の問に答えなさい。

- (1) 企業結合に係る会計処理方法にはパーチェス法と持分プーリング法の 2 つがあるが、それぞれの会計処理方法の具体的な内容及び相違点について説明せよ。
- (2) 企業結合により生じた「のれん（正ののれん）」について、我が国の会計基準ではその効果の及ぶ期間にわたって規則的に償却を行う方法が採用されているが、その根拠について説明せよ。
- (3) 持分プーリング法はどのような企業結合が行われた場合に適用されるか、具体的なケースを 2 つ挙げて説明せよ。
- (4) 連結財務諸表の作成上、「のれん」はどのような計算手続により認識されるか説明しなさい。

問 2 原価態様の観察による固定費・変動費の分解や直接原価計算に依拠する CVP 分析によって得られる損益分岐点に関する会計情報は、短期利益計画や期間予算の策定に不可欠であるが、中期利益計画やプロジェクト別利益計画への利用には適さない理由を説明しなさい。

以上